

報道関係各位

株式会社 OKB総研

「主婦のスマホ事情」アンケート結果について

株式会社OKB総研(大垣市郭町 2-25 社長 五藤義徳)は、「主婦のスマホ事情」アンケート結果を取りまとめましたのでご紹介します。

なお、結果の全文は4月に発刊予定の当社の機関誌「レポート Vol.169」にて掲載いたします。

《要約》

1. 主婦のスマホ保有率 **83.8%**

2. 主婦の平均利用時間(1日) **1時間16分**

3. 主婦の利用しているアプリの種類

順位	種類	回答率
1位	SNS	76.7%
2位	天気	68.5%
3位	カメラ・写真・ビデオ	67.6%
4位	ニュース	63.3%
5位	地図・路線検索	56.2%
6位	ゲーム	40.8%
7位	カレンダー・予定管理	39.4%

4. 主婦のスマホショッピング

・スマホショッピングの利用率 **51.9%**

・1カ月の平均買い物金額 **9,624円**

スマホが主婦に広く浸透していることが確認できた。また、利用しているアプリなどから通話機能以外に様々な用途でスマホを活用していることが分かった。今後、益々、日常生活においてスマホを活用する場面が増えてくるであろう。

【調査概要】

- 調査期間：2017年11月7日～11月10日
- 調査方法：大垣共立銀行本支店（東京・大阪を除く）に来訪した主婦（注）791名にアンケート用紙を配布・回収（無記名方式）
本調査は、「主婦の消費行動アンケート」と同時に実施
- 有効回答者数：781名（有効回答率 98.7%）

4. 回答者属性：

年代	20歳代	7.3%
	30歳代	14.9%
	40歳代	29.6%
	50歳代	32.4%
	60歳以上	15.9%
住所	岐阜県	56.1%
	愛知県	40.3%
	三重県	1.8%
	滋賀県	1.7%
	その他	0.1%
就業形態	専業主婦	13.1%
	正社員・公務員・自営業	42.8%
	パートタイマー	41.0%
	内職・その他	3.2%

5. 集計結果表記：数値は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある。

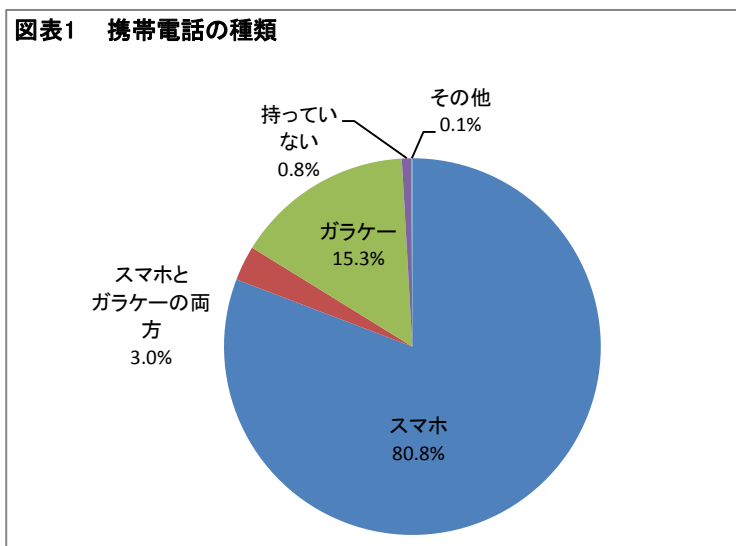
（注）本調査における「主婦」とは、既婚の女性で子どもの有無や就業形態は問わない。

資料配布場所：名古屋金融記者クラブ、大垣市政経済記者クラブ

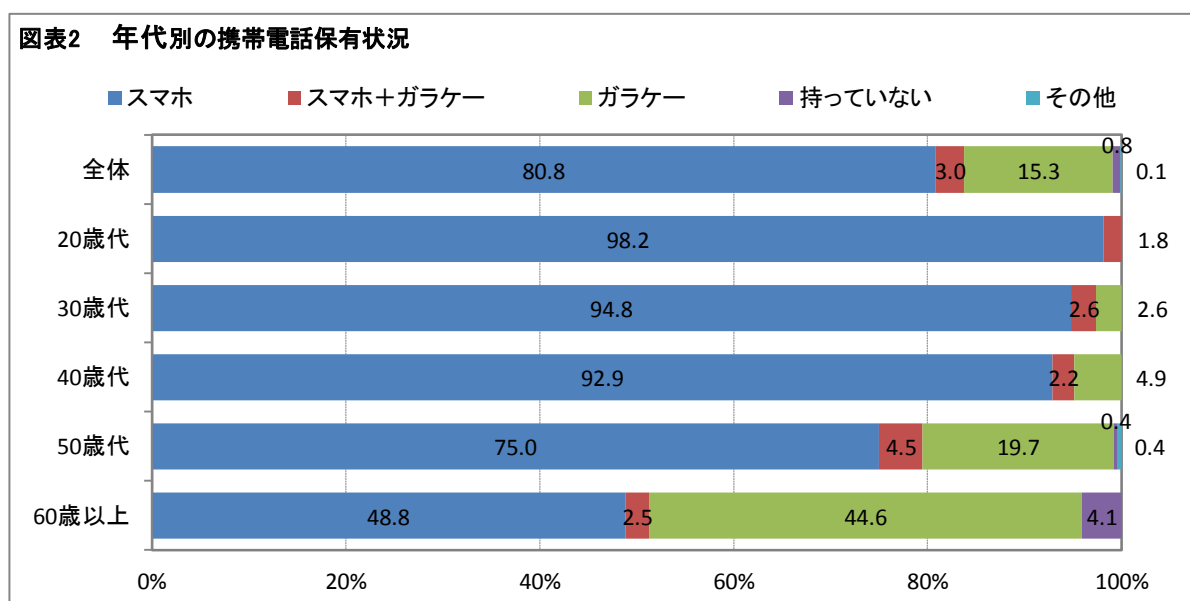
【本件に関する問合せ先：OKB総研 調査部 間野 TEL 0584-74-2615】

1. 主婦のスマホ保有状況：83.8%

はじめに、「あなたがお持ちの携帯電話は何ですか（1つだけ選択）」と尋ねたところ、「スマホ」が80.8%、「一般的な携帯電話（以下：ガラケー）」が15.3%、「スマホとガラケーの両方」が3.0%、「持っていない」が0.8%となった。スマホを保有していると回答した主婦（「スマホ」「スマホ+ガラケー」）の割合は83.8%で、スマホが主婦に浸透していることが確認できた（図表1）。

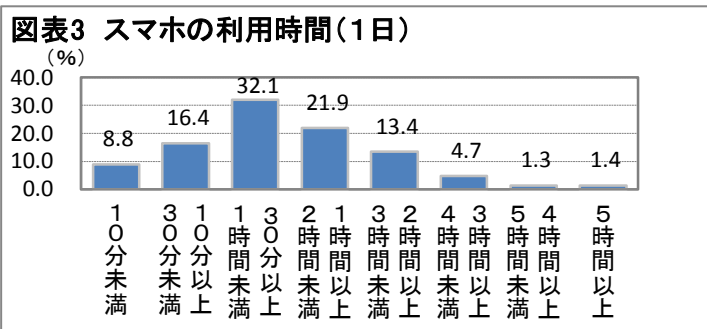


年代別にみると、スマホの保有（「スマホ」「スマホ+ガラケー」）状況は、20歳代が100%、30歳代が97.4%、40歳代が95.1%、50歳代は79.5%、60歳以上は51.3%であった。20歳代から40歳代は95%を超え、ほとんどの主婦が保有している結果となった。また、60歳以上も51.3%とガラケーの保有率を上回る結果となり、スマホが中高年層へも着実に浸透してきていることがうかがえた（図表2）。

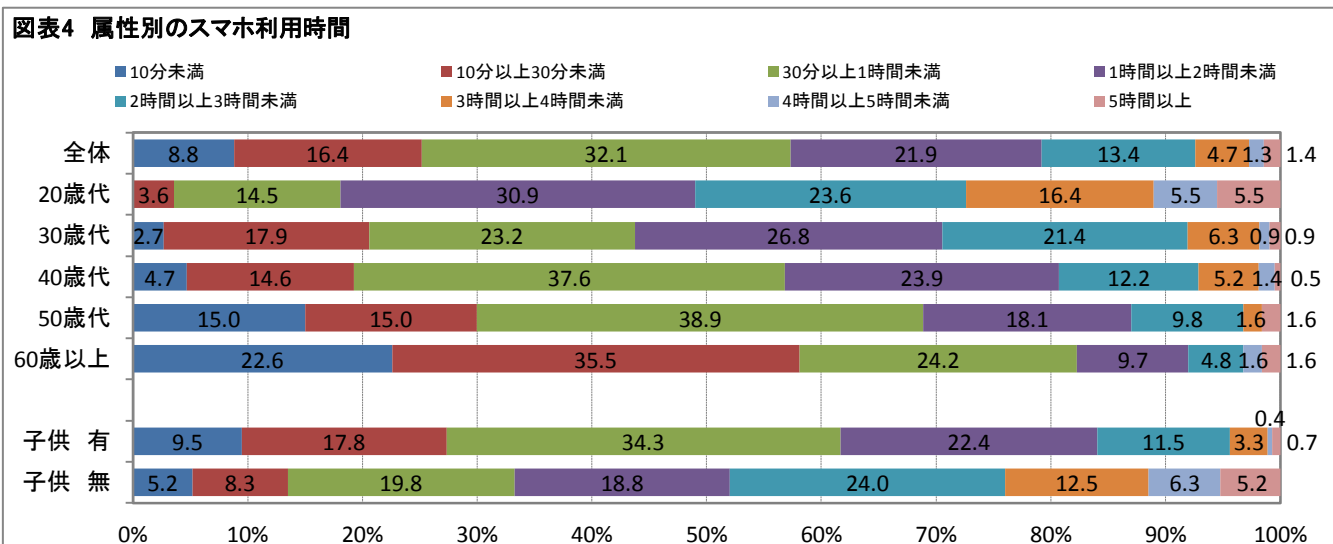


2. スマホの利用時間：1時間16分

前問で、スマホを保有していると回答した主婦に「1日にスマホをどのくらいの時間利用（通話、アプリ、ゲームなどスマホの総利用時間数）していますか（1つだけ選択）」と尋ねたところ、「30分以上1時間未満」がトップで32.1%となった。次に「1時間以上2時間未満」で21.9%、「10分以上30分未満」で16.4%となった（図表3）。



年代別の利用時間をみると、20歳代と30歳代は「1時間以上2時間未満」、40歳代と50歳代は「30分以上1時間未満」、60歳以上は「10分以上30分未満」がトップであった（図表4）。



また、回答から平均利用時間を算出したところ、全体では1時間16分であった（図表5）。回答率は「30分以上1時間」が最も高かったが、平均利用時間は1時間を超える結果となった。

年代別にみると、平均利用時間が最も長かったのが20歳代で2時間18分、最も短かったのが60歳以上で45分であった。年齢が若いほど利用時間が長くなる傾向が見てとれた。

子供の有無別により利用時間をみると、子供有は「30分以上1時間未満」、子供無は「2時間以上3時間未満」がトップであった。平均利用時間は、子供有が1時間7分、子供無が2時間4分であった。子供のいない主婦の方が子供のいる主婦に比べて利用時間は長くなるという結果であった。

図表5 属性別のスマホ平均利用時間

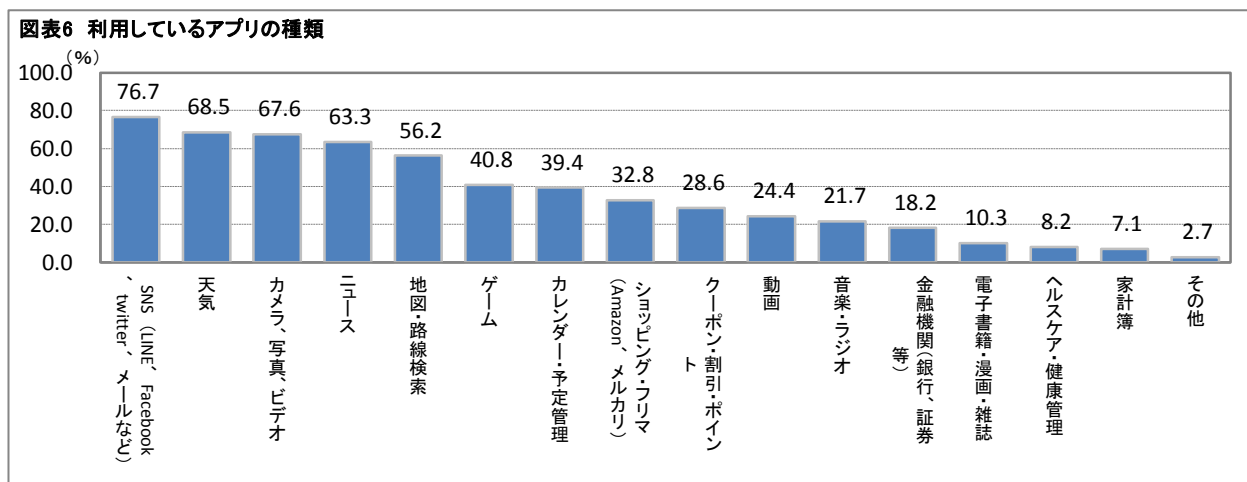
属性	平均利用時間
全体	1時間16分
20歳代	2時間18分
30歳代	1時間29分
40歳代	1時間16分
50歳代	1時間01分
60歳以上	45分
子供有	1時間07分
子供無	2時間04分

3. 利用しているアプリ：SNS

スマホを保有していると回答した主婦に対して「どの種類のアプリを利用していますか（該当項目全て選択）」と尋ねたところ、「SNS（LINE, Facebook, twitter, メールなど）」（以下：SNS）がトップで76.7%であった。次に「天気」で68.5%、「カメラ、写真、ビデオ」（以下：カメラ）で67.6%であった（図表6）。「SNS」の回答率は8割弱に上った。他者とのコミュニケーション手段としての「SNS」の利用が、主婦に浸透していることが確認できた。

また、「天気」「ニュース」が60%を超えており、情報媒体としてスマホを利用している結果となった。一方、「ゲーム」が4割強、「ショッピング・フリマ」が3割強となっている点にも注目したい。主婦は娯楽や買い物の手段としてもスマホを利用している結果となった。

このことから、主婦が日常生活の様々な場面でスマホを利用していることがうかがえた。



次に、年代別の特徴をみてみたい（図表7）。

20歳代において最も回答率が高かったアプリは、コミュニケーションツールの「SNS」であった。また、回答率94.5%は年代別の回答率の中で最も高く、20歳代にとっては必須であると言える。尚、その他のアプリについても、他の年代に比べ総じて回答率が高く、スマホを最も活用している年代であると言える。30歳代のトップも「SNS」で回答率は82.1%であった。また、他の年代と比べ「ショッピング・フリマ」の回答率が50.9%と高いことが特徴的である。40歳代と50歳代は類似しており、トップは20歳代、30歳代と同様に「SNS」で、重要なアプリであると言える。2位は天気、3位はニュースでテレビや新聞などから得られる情報をスマホからも得ていることがうかがえた。60歳以上のトップは「カメラ」で、他の年代でトップである「SNS」は52.5%に留まっているという特徴があった。

図表7 属性別の利用アプリ

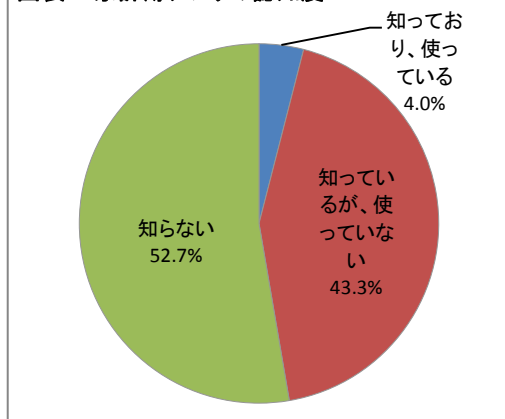
(%)

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位
全体 (回答率)	SNS (76.7)	天気 (68.5)	カメラ、写真、ビデオ (67.6)	ニュース (63.3)	地図・路線検索 (56.2)	ゲーム (40.8)	カレンダー・予定管理 (39.4)
20歳代	SNS (94.5)	カメラ、写真、ビデオ (87.3)	天気 (81.8)	地図・路線検索 (78.2)	カレンダー・予定管理 (72.7)	ニュース (69.1)	ゲーム (63.6)
30歳代	SNS (82.1)	カメラ、写真、ビデオ (69.6)	天気 (67.9)	ニュース (58.0)	地図・路線検索 (54.5)	ショッピング・フリマ (50.9)	ゲーム (44.6)
40歳代	SNS (78.8)	天気 (71.2)	ニュース (66.5)	カメラ、写真、ビデオ (65.1)	地図・路線検索 (57.1)	ゲーム (42.0)	ショッピング・フリマ (39.6)
50歳代	SNS (73.7)	天気 (64.4)	ニュース (64.4)	カメラ、写真、ビデオ (63.9)	地図・路線検索 (56.2)	カレンダー・予定管理 (37.1)	ゲーム (35.6)
60歳以上	カメラ、写真、ビデオ (66.1)	天気 (61.0)	SNS (52.5)	ニュース (52.5)	地図・路線検索 (35.6)	ゲーム (25.4)	カレンダー・予定管理 (20.3)

4. 家計簿アプリ(連動型)の認知度

近年、新たな決済手段としてスマホを利用した決済(スマホ決済など)が普及しつつあるなど、金融の分野でもスマホの積極的な活用が見られ、最近では、銀行口座やクレジットカードなどと連携し、資産を一括で管理できるアプリ(以下:家計簿アプリ(連動型))が関心を集めつつある。そこで、スマホを保有していると回答した主婦に対して「あなたは「家計簿アプリ(連動型)」をご存知ですか(1つだけ選択)」と尋ねたところ、「知っており、使っている」が4.0%、「知っているが、使っていない」が43.3%、「知らない」が52.7%であった(図表8)。半数近くの主婦が知ってはいるものの、使っているのは4.0%に留まっていることが分かった。

図表8 家計簿アプリの認知度



5. スマホを利用した買い物について

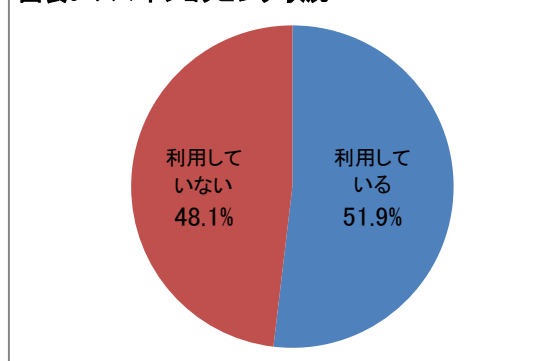
次に、スマホを保有していると回答した主婦に対して「スマホを利用して1カ月平均いくら買い物をしていますか。以下のAとBについてお答えください(それぞれ1つ選択)」と尋ねた。

A. スマホショッピング：51.9%

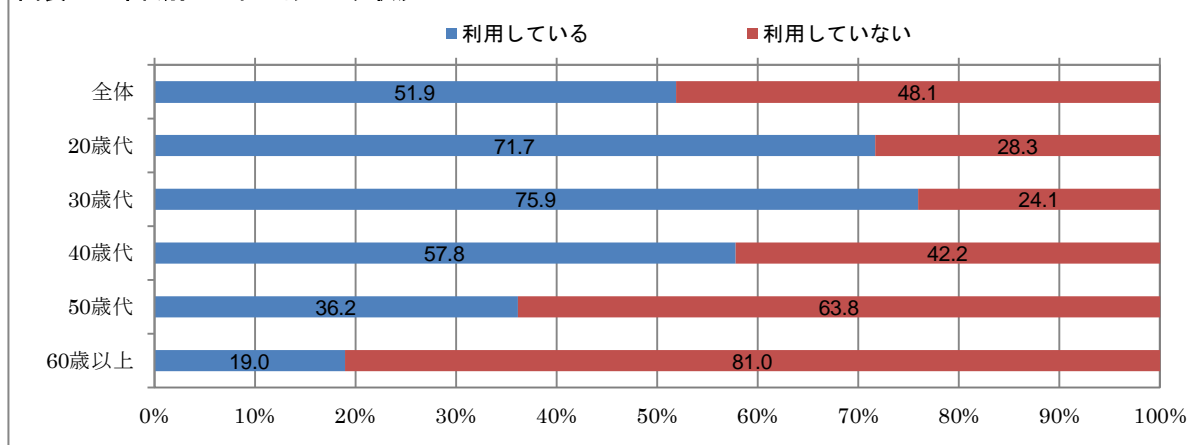
「スマホを利用してアマゾンや楽天、個別企業ホームページからの購入等による買い物」(以下:スマホショッピング)について尋ねたところ、「利用している」が51.9%、「利用していない」が48.1%であった。半数はスマホショッピングをしている結果となった(図表9)。

年代別にみると、「利用している」のと回答は、20歳代と30歳代が7割を超えた一方、50歳代は4割弱、60歳以上は2割弱であった(図表10)。

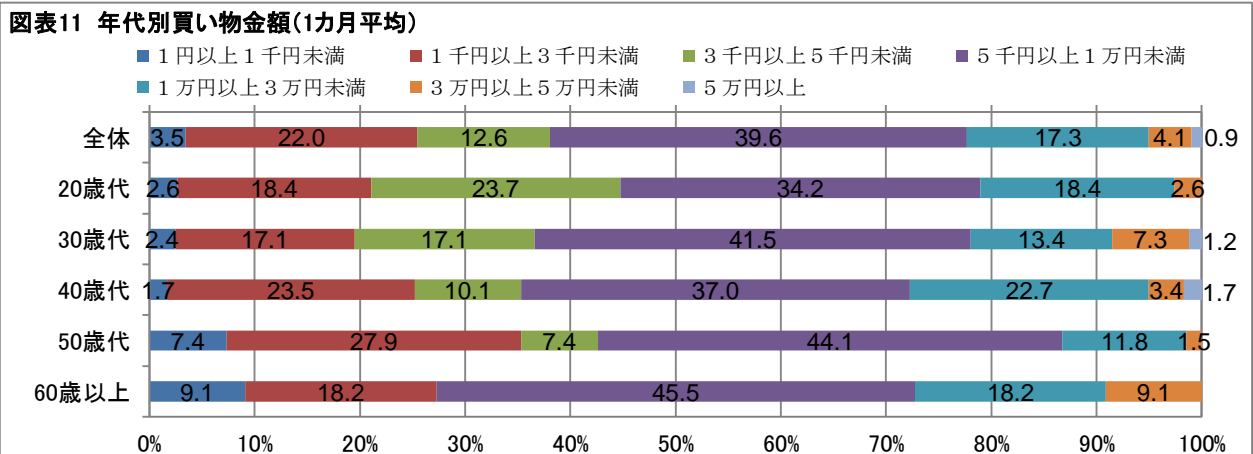
図表9 スマホショッピング状況



図表10 年代別スマホショッピング状況



次に、1カ月のスマホショッピング金額についてみたい。全体では「5千円以上1万円未満」の回答率が39.6%とトップであった（図表11）。



また、1万円未満の回答率が全体の8割弱を占める結果となった。回答から1カ月当たりの平均買い物金額を算出すると9,624円であった（図表12）。

年代別にみると、どの年代も「5千円以上1万円未満」の回答率がトップで、平均買い物金額は1万円前後となった。

若い年代ほどスマホショッピングを利用する傾向にあるものの、どの年代も平均買い物金額は1万円前後とそれほど大きな違いは見られなかった。

図表12 年代別の平均買い物金額

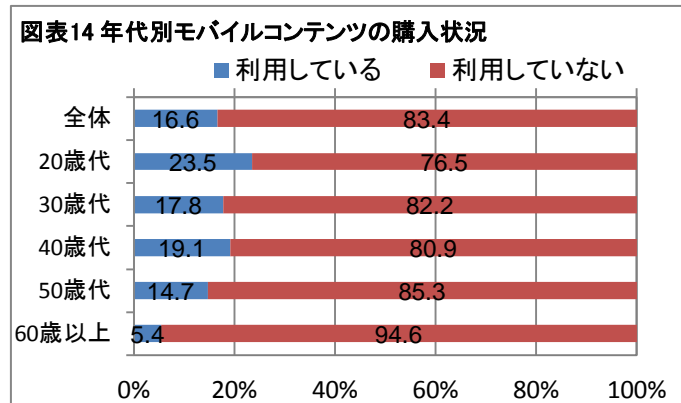
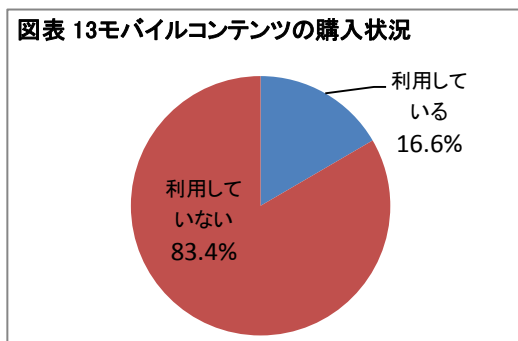
年代	平均買い物金額
全体	9,624円
20歳代	8,539円
30歳代	10,585円
40歳代	10,681円
50歳代	7,000円
60歳以上	11,000円

B. 有料モバイルコンテンツの購入：16.6%

「有料アプリやゲーム課金、LINE スタンプ購入等によるモバイルコンテンツの購入」について尋ねたところ、「利用している」が16.6%、「利用していない」が83.4%であった（図表13）。

年代別にみると、「利用している」との回答は20歳代が最も高く23.5%で、他の年代の回答率は2割未満であった（図表14）。

また、図表は掲載していないが1カ月の購入金額はほとんどが1千円未満であった。



以上